

第22回地域創生・人口減少対策本部会議

日 時：令和7年3月24日（月） 11：35～11：45

場 所：危機管理センター災害対策本部会議室

【鈴木副知事】

ただ今から、第22回地域創生・人口減少対策本部会議を開催いたします。早速、「(1) 次期「ふくしま創生総合戦略」(案)について」、「(2) 令和7年度以降の推進体制について」、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1-1をご覧ください。

昨年12月に更新した「福島県人口ビジョン」におけます人口目標「2040年に福島県総人口150万人程度の維持」に向けた具体的な考え方や施策を次期戦略に定めております。

計画期間は令和12年までの6年間とし、引き続き、総合計画のアクションプランとして位置付けております。

基本理念は『連携・共創による「福島ならではの」県づくり』とし、「復興・再生」と「地方創生」を両輪で推進してまいります。

そして、「福島ならではの」県づくりとして、一つ目「県民の誇り「ふくしまプライド。」を更に光り輝かせ、あらゆる世代、人々の希望を大切に、「挑戦」を支える思いやりあふれる社会の実現」、二つ目「ふくしまの「可能性、魅力、強み」を更に高め、誰もが安心して暮らせる、しなやかで持続可能な社会の実現」、三つ目「人の魅力が人を呼び込む「あこがれの連鎖」を更に広げ、新たな価値や魅力の創造に挑戦できる社会の実現」を掲げました。

この基本理念の下、「ひと」「暮らし」「しごと」「人の流れ」の分野ごとに基本目標を設定しております。

2ページをご覧ください。ひと分野では「一人ひとりの夢や希望がかなう社会をつくる」を基本目標に、「出会い・結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実」や「健康長寿社会の実現」に加え、学力・体力の向上、福島への愛着形成など「教育の充実」、多文化共生社会や女性活躍に向けた環境づくりなど「誰もが活躍できる社会の実現」を新たな柱として、各種施策に取り組んでまいります。

3ページをご覧ください。暮らしの分野ですが「あらゆる人が安心して豊かに過ごすことができる暮らしをつくる」を基本目標に、「安全・安心で魅力的な暮らしの実現」や「環境と調和・共生する暮らしの実現」のほか、「過疎・中山間地域の振興」を新たに柱建てし、地域における、担い手確保や生活環境の維持・向上、働く場の確保などに取り組んでまいります。

4ページをご覧ください。しごとの分野ですが「若者や女性をはじめ誰もがいきいきと活躍できる仕事をつくる」を基本目標に、働き方改革を推進し、多

様で柔軟な働き方や女性が働きやすい職場づくりに取り組むとともに、若者の定着・還流に向けた情報発信や支援、続いて5ページになりますが、中小企業等の振興、イノベ構想をはじめとした新産業の創出や企業誘致、起業・創業支援、農林水産業の担い手不足やブランド力向上等に取り組んでまいります。

6ページをご覧ください。人の流れ分野では「国内外から福島への新しい人の流れをつくる」を基本目標に、移住された方が定着できるよう移住環境づくりを進めるとともに、観光振興や福島とのつながりづくり等を通じて、交流人口の拡大に取り組んでまいります。

こうした理念、目標の下、国や市町村、企業、団体などあらゆる主体の皆様と連携・共創し、若者や女性の視点も大切にしながら人口減少対策に取り組むとともに、事業の構築に当たっては、エビデンスや指標に基づき検証、改善を行い、より効果の高い取組へとつなげてまいります。

資料1-4をご覧ください。表紙にですが、現行戦略に引き継ぎまして、福島西高等学校デザイン学科の生徒さんに作成いただきました。

新年度からの6年間、本戦略に基づき、地方創生・人口減少対策を総合的に進めてまいります。

続きまして、資料2-1、令和7年度以降の推進体制について御説明します。

一つ目、地域の実情に応じた取組を進める必要がありますことから、本部員に全地方振興局長を加えた「ふくしま創生・人口戦略本部」を設置し、本庁と地方振興局の「連携・共創」を推進しながら、県庁一丸となって戦略的に人口減少対策に取り組んでまいります。

二つ目、人口減少対策はあらゆる分野、あらゆる世代に関わりますことから、新たにメンバーを拡充した「ふくしま創生・人口戦略有識者会議」を設置し、取組の評価・検証を一層強化しながら、効果的な事業を構築、展開してまいります。

三つ目、官民が「連携・共創」しながら取り組む必要があることから、500を超える企業、団体等が参加します「ふくしまSDGsプラットフォーム」を母体に「ふくしま創生・人口戦略官民連携・共創チーム」を設置し、オール福島による取組を推進してまいります。

次期総合戦略の下、3つの「新しい推進体制」により、地方創生・人口減少対策を戦略的に進めてまいります。

説明は以上です。

【鈴木副知事】

今までの説明について、何か質問・意見等ありますか。よろしいですか。なければ、ふくしま創生総合戦略及び新しい推進体制について、本案をもって決定いたします。

最後に知事からお願いします。

【知事】

次期「ふくしま創生総合戦略」を決定しました。

出生数の大きな減少、若者の県外流出など、本県の人口減少が極めて厳しい状況にある中で、この総合戦略は、福島を未来を切り拓いていくための重要な羅針盤となります。

この戦略の下、自然減対策と社会減対策を両輪として、人口減少対策を着実に進めていく上で重要なポイントが2つあります。

一つ目は「連携・共創」です。

震災・原発事故からの復興・再生という困難な課題に挑戦し続けている福島県にとって、県民の皆さんや市町村、企業、団体等の皆さんと築き上げてきたきずなやつながりが強みであります。そうした関係を人口減少対策の大きな力とすることが極めて重要です。

新たに立ち上げる「官民連携・共創チーム」等において、企業や団体、女性・若者などあらゆる方々と議論を深め、「連携・共創」しながら、戦略的に取組を進めてください。

二つ目は「地域の多様性」です。

広大な県土を有する本県には、美しい自然や奥深い歴史、伝統文化など、それぞれの地域ならではの魅力的な強み、可能性があり、「地域の多様性」を最大限に引き出していくことが鍵となります。

新たな本部体制の下で、本庁と地方振興局とがしっかりと連携をし、地域のニーズを踏まえた効果的な施策を展開してください。

令和7年度は、次期総合戦略がスタートする大事な一年となります。

何としてもこの危機を克服し、豊かな福島を築いていくことができるよう、オール福島で人口減少対策に取り組んでいきましょう。

【鈴木副知事】

以上で、会議を終了します。